

開かれた学校づくりのためを目指した携帯メールの活用実践

千葉県野田市立東部中学校 教頭 中村 司

nakamura@ice.or.jp

<http://www.chiba-c.ed.jp/noda/toubu-j/>

キーワード：中学校，開かれた学校づくり，携帯メール

1. はじめに

2004年末の総務省調査では、全国の90%以上の世帯で、携帯電話が普及しており、インターネットの普及率(約65%)を凌駕している。携帯電話利用者のほとんどは、メールを利用していることは、容易に想像できる。

さて、学校現場では、「開かれた学校づくり」が課題とされ、様々な場面において、保護者に対する情報提供をおこなっている。その手段は、プリントによる資料の配付やホームページによる情報提供がほとんどである。

また、緊急の連絡がある場合には、「連絡網等」を利用しているが、最近では「個人情報保護法」への対応という課題が表面化しつつある。

そこで、インターネットよりも普及している携帯電話メールを利用し、その簡易性やリアルタイム性を有効に活用することで、学校の情報を速やかに伝達でき、「開かれた学校づくり」の一助とすることができるとともに、個人情報(携帯電話メールのアドレス等)の登録や管理、活用シーンについて研究することで、他の今後の活用を促進するものであると考えた。

2. プロジェクトの概要

2. 1. 研究の内容

(1) 保護者へのアンケートを実施し、提供してほしい情報の希望を確認

9月に保護者対象のアンケートを実施した。アンケートの結果からは、概ね情報の提供に対する理解を得るとともに、メールアドレスの収集についても理解を得ることができた。

ただし、個人情報の取り扱いに関して慎重論もあり、メールアドレス等の収集の方法について十分に検討していく必要性を感じた。

また、1割程度が携帯電話を保有していないことから、未保有者への対応についても心配する声があった。

(2) 学校における情報提供の有効な機会及びその内容の検討

保護者対象アンケートの際に、どのような情報提供を期待するかについても聞いてみた。

その結果、一番多かったのが、天候等による急な下校のお知らせなどの予定外の行動について知らせてほしいということであった。また、学校が予想していたように、プリント類の配布のお知らせに関する情報の提供について知らせてほしいという意見も多くあった。

これらのことから、学校として、情報の提供内容を検討した。しかし、実践を進めていない時点での状況なので、改めてアンケートを実施し、提供内容について検討することを前提に、プリント類の発送のお知らせから順次、提供していくことを確認した。

(3) 保護者の携帯電話メールアドレスを収集し、メーリングリストを作成

携帯メールのアドレスの収集について、賛否両論があるため、PTA役員を対象として、実験的・暫定的に情報提供を実施することとした。個人情報保護の観点から、メールアドレスのみを収集し、学校において登録する方法を試みることにした。

(4) 携帯メール以外による情報提供手段の検討

携帯メールの登録方法を学校で収集することとしたため、登録希望が50%程度となってしまった。そこで、情報提供の方法として、別の方法についても検討することとした。

現在盛んに利用されているブログは、携帯電話からでもアクセスできることが、大きな利点であると言われる。そこで、学校の連絡用ブログを構築し、携帯メールとブログを双方利用することにより、情報を受信できる機会を増やすことにした。

(5) 保護者への発信のための分類や整理方法の検討

現状では、学校の情報と不審者情報を中心として、情報提供をしているが、今後、より活用するための情報提供内容の検討が必要である。

2. 2. 成果と課題

現状では、賛同を得た保護者のみを対象として、検証をしている段階であり、情報提供内容及び登録方法について、様々な方策等を検討している。個人メール配信サービスを提供している企業にも意見を聞きながら進めているが、これがベストというものなかなか存在しないのも事実である。

今後は、再度のアンケートを実施するなど、情報を提供する側の教職員やその逆の保護者の意見を参考としながら、研究を推進していきたい。